

- 1 室町文化において、武士の精神に大きな影響を与え、水墨画や書院造の基礎となった教えを何という？
① 浄土真宗 ② 浄土宗 ③ 日蓮宗 ④ 禅宗
- 2 応仁の乱の後、実力のある者が上の立場の者を倒して勢力を広げた、戦国時代の風潮を何という？
① 一揆 ② 下剋上 ③ 一門 ④ 落胤
- 3 後醍醐天皇による天皇親政が始まるきっかけとなった、1333年に滅亡した武家政権は何か？
① 江戸幕府 ② 室町幕府 ③ 鎌倉幕府 ④ 明治政府
- 4 京都の北朝と吉野の南朝の対立を終わらせ、南北朝を合体させた室町幕府の第3代将軍は誰？
① 足利義満 ② 足利直義 ③ 足利尊氏 ④ 足利義詮
- 5 室町幕府が、明との貿易船を正式なものと証明するために使用した札を何という？
① 符節 ② 印章 ③ 勘合 ④ 公驗
- 6 15世紀に統一され、中継貿易で大きく繁栄した島はどこ？
① 五島列島 ② 沖縄本島 ③ 種子島 ④ 佐渡島
- 7 首里に築かれ、琉球王国の政治・外交・文化の中心として栄えた拠点を何といいますか？
① 安土城 ② 大阪城 ③ 姫路城 ④ 首里城
- 8 室町時代、琉球王国が日本や東南アジアの産物を運んで中継貿易を行った、当時「明」がおさめていた東アジアの中心的な国はどこ？
① 中国 ② タイ ③ フィリピン ④ 朝鮮
- 9 明との貿易を開始し、倭寇の取り締まりを行った室町幕府の三代将軍は誰？
① 足利義政 ② 足利尊氏 ③ 足利義満 ④ 足利義教
- 10 観阿弥・世阿弥の父子を保護し、能が芸術として大成する後ろ盾となった室町幕府の第3代将軍は誰か？
① 足利義教 ② 足利義満 ③ 足利義政 ④ 足利尊氏
- 11 室町時代、細川氏が実権を握り、明との間で行われた貿易を何という？
① 中継貿易 ② 南蛮貿易 ③ 朝貢貿易 ④ 勘合貿易
- 12 室町時代に回数が増え、貨幣経済が浸透するきっかけとなった定期的な市場のことを何という？
① 定期市 ② 問屋 ③ 仲買 ④ 座
- 13 浦島伝説が収められている、奈良時代に編集された日本最古の歌集を何という？
① 古今和歌集 ② 新古今和歌集 ③ 万葉集 ④ 拾遺和歌集
- 14 世阿弥が追求した、能の基礎となる芸術的な美しさを何という？
① 数寄 ② 幽玄 ③ さび ④ わび
- 15 室町時代に、幕府から地方の軍事・行政権を与えられ、領地を支配した地方官を何という？
① 国司 ② 探題 ③ 地頭 ④ 守護



① 隠す

赤シートで赤字を隠す。白黒なら右の列を折る

② 言う

解説を読んで、用語を口に出す

③ 印を付ける

言えたら□にチェック

問	解説	▼ここで折る	答え	言えた
1	禅宗 は、単なる宗教だけでなく、茶の湯や華道、水墨画などの芸術にも強い影響を与えました。		4 禅宗	☐
2	「 下剋上 」とは、下位の者が上位の者を実力で倒して支配権を奪う、戦国時代特有の世の中の秩序を指します。		2 下剋上	☐
3	鎌倉幕府 は、北条氏が実権を握り、武士による裁判や土地支配を行う仕組みを整えていました。		3 鎌倉幕府	☐
4	室町幕府の第3代将軍である 足利義満 は、力のある守護大名を抑え込むと同時に、1392年に南朝の天皇から北朝の天皇へ位を譲らせる形で南北朝を合体（統一）させました。		1 足利義満	☐
5	「 勘合 」は、明が日本の貿易船に与えた割り印のある証票で、明が保管する底簿と照合されました。		3 勘合	☐
6	沖縄本島 を中心とする琉球王国は、中国、日本、東南アジアの間に位置する地理的条件を活かしました。		2 沖縄本島	☐
7	首里城 は琉球王国の王宮として建設され、政治、外交、文化の中心となりました。		4 首里城	☐
8	中国 は当時、非常に進んだ産業や文化を持っており、日本を含む諸国から製品が求められました。		1 中国	☐
9	足利義満 は室町幕府の三代将軍で、南北朝を合一させ、幕府の権力を安定させました。		3 足利義満	☐
10	義満は、観阿弥・世阿弥の父子による猿楽（能）の才能を高く評価し、強力な後援者となりました。		2 足利義満	☐
11	足利義満が開始した 勘合貿易 は、明の皇帝が発行した証明書である「勘合」を所持した船のみが貿易を許可される仕組みです。		4 勘合貿易	☐
12	定期市 は、3のつく日や6のつく日など、決められた日に地域の人々が集まって開かれました。		1 定期市	☐
13	万葉集 は、天皇や貴族だけでなく、防人や名もなき人々が詠んだ歌を約4500首も集めた巨大な歌集です。		3 万葉集	☐
14	「 幽玄 」とは、単に美しいだけでなく、言葉では言い表せないほど深みのある美しさや、静寂の中にただよう気品を指す言葉です。		2 幽玄	☐
15	守護 は幕府に任命された地方の支配者で、軍事と警察権だけでなく、徴税権も認められるようになりました。		4 守護	☐

言えなかった用語ノート